

## 和歌山県の概要

和歌山県は、日本最大の半島である紀伊半島の南西部に位置し、総面積4,725km<sup>2</sup>、全国で30番目の大きさで、人口は961,320人(平成27年11月1日現在の県内推計)です。30市町村から構成され、7つの二次医療圏にがん診療連携拠点病院が6ヶ所と県指定のがん診療連携推進病院が3ヶ所となっています。

地形は、大部分が紀伊山地を中心とする山岳地帯で標高1,000m前後ですが、比較的傾斜の急な山が多く、各河川の流域に平地が開けています。これらの山々などに広がる山岳霊場と参詣道及び周囲を取り巻く文化的景観については、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」として三重県、奈良県、和歌山県の三県にまたがって登録されています。

## 和歌山県がん登録の歴史

本県の地域がん登録事業は、平成23年度から開始しており、今年で5年目です。当初より、標準登録様式と標準データベースシステムを導入して実施しています。

## 登録室紹介

地域がん登録は、県がん診療連携拠点病院である和歌山県立医科大学附属病院に独立した部屋を設けて実施しており、登録室の体制は、病院業務との兼任ですが医師1名と実務者4名となっています。

全国がん登録のシステム導入にあっても、独立した部屋で実施していたことから、比較的スムーズに導入することが出来たと考えています。

## 現状と課題

登録票の年間処理件数は開始当初は6,500件程度でしたが、平成25年からは9,000件を超える届出件数となっています。届出精度は平成21年(2009年)はDCN36.3%、DCO36.3%、IM比2.41でしたが、平成26年に過去3年分の遡り調査と出張採録を実施した結果、平成23年(2011年)においてはDCN24.4%、DCO9.1%、IM比2.27となり、全国モニタリング集計の比較可能地域(B基準)を達成することが出来ました。

課題としては、集積した情報の利用と全国がん登録への対応です。

情報の利用については、罹患情報がある程度、蓄積されてくることから、その活用法について検討を進めていく必要があります。↗

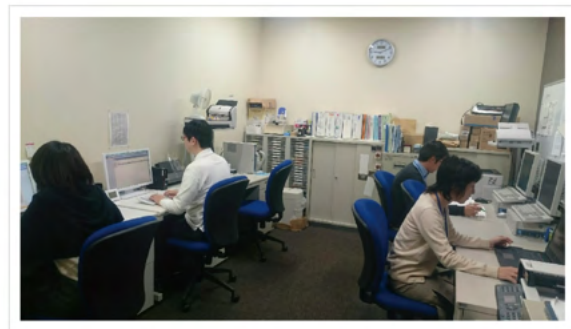
また、全国がん登録の開始後、届出医療機関数が3倍程度になることから、不慣れな医療機関からの問い合わせ等の対応が増えることが予想されます。県とも相談の上、届出の研修会などの開催について検討しています。さらに、当面は郵送での届出となることから、医療機関が混乱しないような体制づくりや、個人情報の管理など強化していきたいと考えています。

## 最後に

平成27年は、全国がん登録の開始に向けて、準備や医療機関への説明会等の対応であつという間の1年でした。

本県の地域がん登録は、開始当初に比べて精度は向上しておりますが、まだまだ不十分な点も多いのが現状です。全国がん登録も始まりました。

これからも、一層の精度向上やデータの活用など努力してまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



和歌山県地域がん登録室の様子

